

# 校名候補提案理由(抜粋)

# 資料8

校名案	理 由	年 代	備 考
せいりゅう 清 流	3校ともに片貝川、布施川の流域にあり、清らかな川の流れるように子どもたちも育てほしい。	30	
	西布施、片貝、吉島に属する片貝川にちなんで。	30	
	一年を通して清い水流に恵まれた場所であり、子どもたちも清い流れのように育てほしいとイメージした。	50	
	円筒分水槽、黒谷頭首工、山の森キャンプ場を散策し、魚津の水循環のすばらしさに感動し、清く美しい水の流れることに感謝した。 「流れて清き川の水」から思いついた。	60	
	地内には、布施川、小川寺川、片貝川という清らかな水が流れているから。	60	
	各地区共通の川である片貝川にちなんで、たゆまぬ努力、清らかさ、日本海を未来の象徴として、そこへ一気に目指すたくましさを期待して。	60	
	片貝川に新しく作られた橋の名前と同じで、親しみを感じ覚えやすいから。	小学生	
さと みのりの里	地域のことを考えると美しい山々や河川、豊かな土地で取れる農作物や様々な夢に向かって頑張っている人々が思い浮かぶ。それらに共通してあてはまる言葉にみのり(実り)(美野里)があると思う。夢や希望を实らせたり、人々の心も豊かになっていけたらという願いを込めて。	40	
	ブドウ、りんご等の特産物と子供たちが大きく育つ過程をイメージした。	19歳以下	
	4つの地域の笑顔が実るように。 加積はりんごが実り、天神と西布施はぶどうが実り、片貝は米が実り、この4つは実りの里だから。	小学生	
の かづみ野	加積地区内に小学校があるから。ひらがなを交えた方がわかりやすい。「野」は平野などの意味も込められている。	40	
	もともと加積地区なので。名前を広い意味で残したい。	60	
	加積地区に学び舎を構える。吉島小の校歌から引用	30	
	加積りんごの産地だから。	40	
	加積地区に集結し、児童が野山で伸び伸びと学び育つ様子を思いつつ考えた。滑川や上市の一部にも加積がつく地名があることからひらがなで区別した。	40	
	加積地区にあるので。	40	
	小学校が加積地区にあり、りんごをイメージできる。	50	
	吉島小のある地区の「かづみ野」がふさわしい。子どもたちもわくわくできる学校名だと思う。	50	
	地域の名称	50	
	学校の所在地が加積地区であるから。	50	
	吉島小の校歌の一節。片貝・西布施地区もみどりの加積野である。	60	
	吉島小学校は加積野平野に位置し、また、加積地区は加積りんごの産地として名が知られている。	60	
	場所の地名と、吉島小学校の校歌にも入っている言葉だから残していきたい。	小学生	
覚えやすく親しみやすい。	小学生		